

2016

小さな自然観察クラブ

第1回目 春を探しに行こう



5月14日(土曜日)に今年度の小さな自然観察クラブが始まりました。今年度は18名のクラブ員で、新しく参加した子、過去にも参加した子が半分ずつとなりました。1年間楽しく活動していきましょう。

1回目は「春を探しに行こう」として、健康の森に行きました。健康



の森に行く前に博物館で開会式。初めて顔を合わせたクラブ員から楽しみにしている回を教えてくださいました。1番人気だったのは第7回のキャンドル作り。その他、親子野外料理、今回の春を探しに行こうが声にあがっていました。

開会式を終え健康の森へ！到着するとキレイな桜が皆さんをお出迎え。この日は青空が広がりまさに快晴！最高の



オオバナエンレイソウ

ヤチブキ



天気のもと、春を探しに出発。森の中には紫色の花「エゾエンゴサク」や果実がネコの目のように見えるといわれている「ツルネコノメソウ」が咲いていました。そして名寄の花「オオバナノエンレイソウ」も咲いていました。花が咲くまでは相当の年数がかかることを教わりました。踏まないように気をつけま

しょう。さらに森の中を歩くと木を叩(たた)く音が聞こえてきました。名寄の鳥「アカゲラ」が会いに来てくれました。「森のドラマー」と呼ばれているくらい、木の叩き方には迫力(はくり



よく)がありました。

森の中には小川もあ

ったので水の中も観察するとサンショウウオの卵発見！さらに「ヤツメ」らしき、細長い生き物が泳いでいました。

今回は天気も良く、名寄の春を体全体で感じる事ができたと思います。これからもいろいろな植物や生き物に会いに行きましょう。



2016

小さな自然観察クラブ

第2回目 朝日ヶ丘観察会



6月11日(土曜日)に第2回観察クラブ「朝日ヶ丘観察会」を開催しました。今回はお昼またぎの開催のため、お弁当を持って土別市にある朝日ヶ丘公園に行きました。

約1時間バスに揺られた後、自然散策スタート。眺めの良い頂上を目指します。登り道はアップダウンの連続。

ゆるやかな下り坂で歩きやすいと思ったら目の前には登り坂が・・・それでも登り道にはいろいろな植物がありました。

(登り道の) 始めには紫色の花ワスレナグサが、中間地点にはクルマバソウやヒトリシズカなどがありました。木ではト

ドマツがたくさん！トドマツの特徴は、葉の先端(せんたん)がへこんでいて触っても痛くないところです。葉の先端に触ってチクッと痛みがあるとそれは「エソマツ」です。様々な



植物を見て歩くと頂上に着きました。天塩岳やその他の山には雲がかかっている、山全体を見ることはできませんでしたが、朝日の景色は絶景でした。

景色を眺めながら水分を取り、おやつを食べ、後半に臨みます。

後半は下り坂！足元に気をつけて下りていきます。下り始めると名札のついた木がたくさんありました。ハリギリ、イタヤカエデ、そしてキハダ!キハダの幹(みき)は柔らかく、中は黄色くなっています。苦味があり漢方薬に使われています。さらに進むと豪快に折れているカツラもありました。細い道で歩きづらい場所もあった下り坂を歩き終え観察終了。集合写真を撮り、お楽しみのお弁当の時間。大人数で食べるお弁当はおいしかったですね。



最後は公園の近くにある「あさひサンライズホール」を見学し、動物の展示を見たり、木の感触を確かめたりしました。名寄を離れての観察クラブ。楽しい時間を過ごしました。

2016

小さな自然観察クラブ

第3回目 親子湿原観察会

7月9日(土曜日)に第3回目の観察クラブ「親子湿原観察会」を開催しました。保護者、弟・妹も参加し総勢36人で美深町の松山湿原に行きました。この日は天気心配でしたが雲の間から太陽も見え、なんとかもってくれました。

博物館を出発し約1時間のバス移動を終え、湿原に近い駐車



場に到着。ここからは約800メートルの登山道を歩き頂上の松山湿原を目指します。松山湿原は高層湿原の1つ。枯れた植物がたまってできた泥炭(でいたん)が長い年月をかけて高く積み重なってできた湿原です。登山道を歩きながら周りの植物を観察。クルマバソウ、エソレイジ

ソウなど数多くの植物を観察しました。途中の休憩で立ち寄った展望台からは仁宇布地区が一望できました。



休憩を終え再び登り始めます。すると木道が見え、登りの道

から平坦な道に変わってきました。松山湿原に到着です。湿原には見頃だった白い花ワタスゲ、これから咲く気配を見せていたタチギボウシがありました。さらに2つの沼の水面には



周りの木々がきれいに写っていました。湿原の自然を満喫し、足元に気をつけながら下山。すれ違う人には通りやすくするため道を開け、もちろん、あいさつも忘れません。



湿原いっぱい咲いていたワタスゲ

下山後、お昼の時間。登った後のお弁当は格別のおいしさ。帰る直前に石碑の前で写真を撮ったり、

天竜沼の周辺を歩いたりそれぞれの時間を過ごしました。

湿原は季節によって育つ植物が変わります。今回は夏に行きましたが、機会があれば季節を変えて足を運んでみては、どうでしょうか。



2016

小さな自然観察クラブ

第4回目 親子野外料理

9月10日(土曜日)に第4回観察クラブ「親子野外料理」を開催しました。あいにくの雨の中、友達・保護者と一緒に料理に挑戦！今回は野外料理の定番「カレー」とサイドメニューとして「コンソメスープ」を作りました。

まずは食材を切ります。普段はお母さんがやってくれるごはんの支度。包丁や皮むきの使い方を教えてもらいながら一生懸命切っていきます。食材切りと同時に行われていたのがお米洗い。



洗うのは自ら立候補した4人。冷たい水で洗うのは大変だったことでしょう。さらに外では火をおこす作業。シラカバの樹皮「がんぴ」を着火剤にして昔使われていたまきストーブや薪(たきぎ)に火をつけます。



一連の準備が終わり、調理開始。

カレーは鉄なべで作ります。食材に火が通ったら、水とカレールーを入れ煮込みます。カレーに欠かせないのがごはん！羽釜(はがま)で炊き、20~30分するといいにおいがしてきました。フタをあけると真っ白に光るごはんが登場！しゃもじで



まぜると中からおこげも出てきましたが、おいしそうに炊けました。ごはんを炊く時に「はじめチョロチョロ、中ぱっぱ」という言葉を聞いた人がいたと思います。「はじめはチョロチョロと弱火で炊き、その後はぱっぱと強火で炊く」という意味のようです。スープは数人で味見。薄ければスープの素を入れ、

味を調節。味見をする子どもたちの顔は真剣そのもの！

ごはん、カレー、スープができあがり、器について全員で「いただきまーす！」頑張って作った料理はおいしいとしか言えない味！自然の中で、かつ、たき火を使っ



2016

小さな自然観察クラブ

第5回目 昔のおやつ作り

10月8日(土曜日)に第5回目の観察クラブ「昔のおやつ作り」を開催しました。前回に続き2回目の野外料理！曇り空で、肌寒い天気の中、総勢25名で「せんべい」と「かぼちゃ団子」の2種類のおやつを作りました。

せんべい作りはまず、小麦粉に水を入れ混ぜる作業から！水を入れる量を間違えるとダマになってしまいます。意外と集中力を使うこの作業。お好みで塩を入れて味をつければせんべいの「生地」の完成。せんべい焼きで焼いていきます。



なかなか見る機会はない昔の調理器具「せんべい焼き」に大興奮！生地がなくなるまで、どんどん焼いていきます。焼きあがったせんべいはさっそく試食。せんべいが割れる「パリッ」とした音もなっていて、おいしかったですね。



かぼちゃ団子はかぼちゃを切る作業から。固いかぼちゃを切るのは一苦労。かぼちゃの置き方を変えたり、切りやすい状態を探りながら細かく切りました。切ったかぼちゃは鍋で



煮ます。黄色く輝き、ホクホクのかぼちゃ。そのまま食べても充分おいしそうですが、さらにおいしくするために片栗粉を入れ、団子の形に丸めます。丸めたらフライパンで焼き、中まで火が通れば完成。モチモチとした食感で、味もかぼちゃの甘さがあったとても良いお味！

昔の人がお腹が空いた時に食べていたおやつ。せんべいはせんべい焼きが必要で作るのは難しいかもしれませんが、かぼちゃ団子はぜひ家でも作ってみてください。



2016

小さな自然観察クラブ

第6回目 ナチュラルクラフト作り

11月12日(土曜日)に第6回目の観察クラブ「ナチュラルクラフト作り」を開催しました。今回は室内での工作っ！いつも一緒に活動しているクラブ員だけでなく低学年(小学1～3年生)の弟・妹も参加しオリジナルの作品を作りました。

まずは自然物を選ぶ作業から！どんぐり、松ぼっくり、落ち葉などを手に取りながら何を作るか考えます。考える時の子ども



たちの表情は真剣そのもの。自然物に視線を送りながらじっくり考えます。さあ何ができるでしょうか？

作るものが決まればクラフト作りのスタート。主に作られていたものはダンボールと自然物を組み合わせた「フレーム」や木片に落ち葉やビーズを貼りつけた「アート」！フレームはダンボールを好きな形に切って飾りつけます。ハート型や円形など形が様々で、アートではたくさんの落ち葉やビーズが使われ、とてもきれいでした。オシャレな作品はさらに誕生します。飾りつ



けた木片をリボンでつなげた飾り物やどんぐりを使った作品も！皆さんの発想には大変驚きました。できあがった作品は円形に並べて写真撮影。お家に飾ってくださいね～。

今年は去年よりもかなり早く雪が降りました。野外

の観察は終わってしまいましたが、工作を通して野外での観察とは違った形で自然に触れるいい機会となりました。次回は今年最後の観察クラブ「キャンドル作り」！今回同様、オリジナルの作品を作しましょう。



2016

小さな自然観察クラブ

第7回目 キャンドル作り

12月10日(土曜日)に今年最後の観察クラブ「キャンドル作り」を開催しました。キャンドル作りは観察クラブでは定番の企画。クリスマスに向けてオリジナルのキャンドルを作りました。



はじめにろうそく溶かし。カッターでろうそくをけずりアルミ製のカップに入れ、ゆせんで溶かしていきます。するときれいな透明のロウになりました。次にロウに色をつけます。好きな色のクレヨンをけずり、色をつけていく子どもたち。どのようなキャン

ドルができあがるのでしょうか。

最後は容器に入れて固める作業。ガラス製や紙製の容器にロウを入れて雪で冷やします。火をとますための芯(しん)もロウを



入れた後に割りばしで固定します。ロウが固まれば完成! 皆さんうまくできましたか? 最初はろうそくをけずったり、熱々なロウを入れたりする作業は大変だったかもしれませんが、「ろうそくを溶かす→色をつける→容器に入れて冷やす」の作業がスムーズに行えているように感じました。できあがったキャンドルは色が

さまざま。数種類の色を積み重ねたものなど、きれいなキャンドルがたくさんできました。

キャンドルができあがったらみんなで記念撮影。クリスマスには今回作ったキャンドルに火をとましてくださいね! 最後はスライド写真を見て今年の活動を振り返りま



した。

皆さん今年の観察クラブはどうでしたか? 違う学校の子と友達になっていろいろな場所に行き、たくさんの自然を見て学習しましたね。来年もぜひ参加してください。1年間ありがとうございました。

